

「UDFの日」キャンペーン 応募時点でのアンケート結果

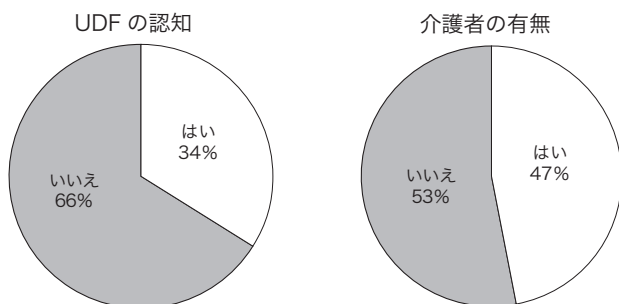
前号では、UDFの日プレゼントキャンペーンについてもご紹介しておりましたが、今回はその際に行ったアンケート結果についてレポートします。

例年ですと単純に「UDFの日プレゼントキャンペーン」としておりましたが、今回は、「UDFってなに？アンケートキャンペーン」と題して、応募には「アンケート」にご協力いただくことが前提であることを強調いたしました。

前回の本項では、キャンペーンへの応募者は10,888名とお伝えしておりましたが、実際にアンケートへ回答いただいた方は11,868名ございました。980名が差分となりますが、これらの方々は、アンケートへご回答いただいたものの、何らかの理由で最終的にプレゼントの応募から離脱されたこととなります。残念ながら理由は不明です。

まず、応募者の年齢層をみると、30代39%、40代25%、20代15%、50代14%の順でした。キャンペーンの趣旨としては、あらゆる年代に向けてお知らせしていくことといたしましたが、他にも10代や60代、70代以上の方々にもお越しいただいており、活動としては十分な周知ができたのではないかと考えています。

次に、UDFの認知度についてですが、これは「知っている」34%、「知らなかった」66%の結果でした。この設問については、隔年実施の定点調査では前者は12%前後であることを考えるとかなり高くなっています（単純には比較できませんが）。また、同定点調査では「食事介護が必要な方がいる」とした回答者がおよそ2割と低い結果でしたが、今回は「介護者の有無」を問う設問で半数近くの47%



が「介護者がいる」と答えています。本キャンペーンへ能動的にご参加いただいた方の環境からUDFに対する認知度はやはり高いと考えてよさそうです。

また、「今後のUDF利用」については、ぜひ利用したい23%、機会があれば利用したい68%と、合計9割を超える方々に好意的な回答をいただきました。

最後に本キャンペーンの認知機会についてみると、SNS広告（Facebook, Instagram）29%、知人からの紹介20%、懸賞サイト20%、本会ホームページ14%の結果でした。小田急線に掲示した広告も5%と健闘しました。今回はこれら媒体の活用により、上記の結果にも表れた通り、介護が身近にある方々を中心にUDFを知っていただく機会を創ることができたと思っております。

本会では、UDFを多くの方々に認知いただけるよう、啓発方法の経験値を得ながら、今後も普及活動を継続してまいります。

【会議、催事等の予定】

10月20日（木） 第3回容器包装研究会

10月29日（土） Webセミナー企画（管理栄養士、栄養士対象）

【UDF商品登録状況（2,195品目・8月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とりみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	11	8	4	91	4	118
冷凍食品	318	258	798	21	0	0	1,395
常温食品	237	74	211	158	2	0	682
合計	555	343	1,017	183	93	4	2,195

【会員の異動（8月）】

計90社（8月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>